

# Enderle&Moll

## エンデルレ・ウント・モル



フライブルクの醸造学校で知り合ったスヴェン・エンデルレとフロリアン・モルが2007年に起業した醸造所。きっかけは2006年にスヴェンが、故郷の町ミュンヒヴァイアーにある、樹齢25~40年のシュベートブルグンダーが栽培されている急斜面の畑0.3haを、地元の老人から任されたことだった。村の周囲には他にも雑色砂岩や貝殻石灰質の、素晴らしいポテンシャルの古木の畑がいくつもあったが、収穫はことごとく醸造協同組合に納められて量産ワインにされていた。きちんと畑を世話して丁寧に造れば、偉大なワインが出来るかもしれないのがスヴェンには残念でならず、持ち主と交渉して少しずつ面積を増やして現在2.5haになっている。ブントザントシュタインの樹齢は40~60年、ムシエルカルクは約70年で、バーデンに現存する最高齢のシュベートブルグンダーだという。ベーシックなシュベートブルグンダーや複数の畑の収穫を醸造する「リエゾン」も樹齢30~45年。栽培はピオロジック。ここ数年は需要に供給が追いつかず、志を同じくする友人が栽培した葡萄を購入している。醸造は伝統的な手法でなるべくワインに介入せず、野生酵母で発酵後、手回し式バスケットプレスで圧搾し、ブルゴーニュの醸造所から購入したバリック樽で12~15か月熟成する。手作りの高品質かつ個性的なワイン。

2017	遅霜、早い収穫開始、収穫量は少ないが良好な品質。		
2016	遅霜に、雹、初夏の大雨に見舞われた。		
2015	収量は多くはないが、しっかりと果実が熟した。		
2014	寒く、雨がちで、生産者の力量が現れる年。		
	<b>○Sekt Brut NV</b> ゼクト ブリュット		
	畑	品種：グラウ・ブルグンダー(75%)、ミュラー=トゥルガウ(25%) 土壌：貝殻石灰質土壌、南、南西	醸造
	<b>○Müller-Thurgau "Müller"</b> ミュラー=トゥルガウ ミュラー		
	畑	品種：ミュラー・トゥルガウ 植樹：1980年頃 位置：南向き、南西向き 土壌：石灰岩、頁岩	醸造 800リットルのプラスチック容器で2~5日間マセレーション。 ステンレスタンクで9から10ヶ月間熟成。
NEU !	<b>○Müller-Thurgau "Buntsandstein"</b> ミュラー・トゥルガウ・ブントザントシュタイン		
	畑	品種：ミュラー・トゥルガウ 土壌：雑色砂岩	醸造
	<b>○Weißwein - cuveé Kaya</b> ヴァイスヴァイン キュヴェ・カヤ		
	畑	品種：リースリング、グラウブルグンダー、ミュラー=トゥルガウ 植樹：1980年代 位置：標高150m 土壌：石灰岩土壌、泥板岩土壌	醸造 マセレーションを数時間行う。 その後プラスチック容器で醗酵、ステンレスタンクにて熟成。
	<b>○Burgunder "Weiß &amp; Grau"</b> ブルグンダー ヴァイス・ウント・グラウ		
	畑	品種：ヴァイスブルグンダー、グラウブルグンダー	醸造
	備考	辛口で繊細の泡立ちのゼクトです。ニワトコの花とマルメロを思わせるアロマがあります。味わいにもそれが続き、それにアーモンド、プリオッシュや黒パンのカリッとした表面のヒントが加わっています。	
	備考	このキュヴェはモーゼルのStefan Steinmetz(ステファン・スタインメッツ/モーゼル)のミュラーとEnderle&Mollのミュラーをブレンドしている。軽くフレッシュでピチピチとして、モーゼルに典型的な粘板岩のアロマがある。2017は生産量4000本。	
	備考	ワイン名である『カヤ』は、トルコ語で『岩』や『石』を意味する。『カヤ』はモーゼル、ブラウネベルクの生産者、Stephan Steinmetz(シュテファン・シュタインメッツ)とのコラボレーションによって生まれた。リースリングは彼の畑から、ヴァイス・ブルグンダーとミュラー・トゥルガウはエンデルレ・ウント・モル醸造所の畑から収穫したブドウを使っている。	

	<p align="center"><b>●Pinot Noir – Basis</b> ピノ・ノワール バースィス</p>		備考	
	<p align="center"><b>●Pinot Noir – Liaison</b> ピノ・ノワール リエゾン</p>		備考	LIAISON(繋がり)という名は二つの異なる土壌の長所を持ち併せていることに由来する。 このキュヴェには、収穫された高樹齢のピノ・ノワールのうち、ミドル・クオリティのものを使用。
	<p align="center"><b>●Pinot Noir - Buntsandstein</b> ピノ・ノワール ブントザントシュタイン</p>		備考	ワイン名である『ブントザントシュタイン』は、ドイツ語で雑色の砂岩、の意味。
2019年5月新着	<p align="center"><b>●Pinot Noir - Buntsandstein Ida</b> ピノ・ノワール ブントザントシュタイン・イータ</p>		備考	ワイン名である『ブントザントシュタイン』は、ドイツ語で雑色の砂岩、の意味。イータは長年この畑を世話してきた女性にちなむ。数年前に彼女が亡くなってから畑を任されるようになったので、彼女を記念して名前をつけた。
	<p align="center"><b>●Pinot Noir - Muschelkalk</b> ピノ・ノワール ムシェルカルク</p>		備考	
	<p align="center"><b>●Pinot Noir - Pinot à Trois</b> ピノ・ノワール ピノ・ア・トロワ</p>		備考	このワインは我々の最も良い3つの畑の、最も古い樹からとれる最もよいブドウから造られる。
	<p align="center"><b>○Müller-Thurgau “Pur”</b> ミュラー=トゥルガウ ピュール</p>		備考	

	<p style="text-align: center;">○Grauburgunder グラウブルグンダー</p>		備考	
畑	品種：グラウブルグンダー 植樹：1980～1990年頃 位置：南西向き 土壌：石灰質土壌	醸造		800リットルのプラスチック容器で10～14日間マセレーション。バリックで10ヶ月間熟成。
	<p style="text-align: center;">○Weißburgunder "Muschelkalk" ヴァイスブルグンダー ムシェルカルク</p>		備考	
畑	品種：ヴァイスブルグンダー 土壌：貝殻石灰質	醸造		マセレーションの後スキンコンタクト。
	<p style="text-align: center;">●Spätburgunder Rosé シュペートブルグンダー ロゼ</p>		備考	Pinot Noir Roséはどことなくごろが悪いので。Spätburgunder Roséとした。 赤ワインにPinot Noirの名称を用いているのは、ブルゴーニュのワイン造りをめざしているため。
畑	品種：ピノ・ノワール 植樹：1970～1985年頃 位置：南西向き 土壌：雑色砂岩土壌、貝殻石灰質土壌	醸造		